

障がいのある方の雇用に取り組む



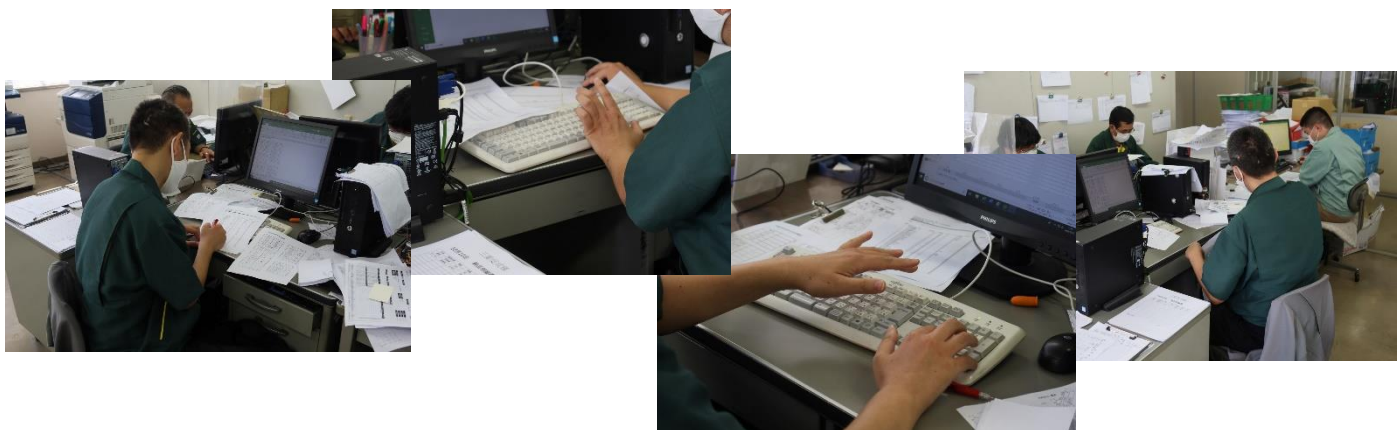
(宇治市)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】 青果物卸売

【障がいのある方の仕事】 事務



### 【障がい者雇用の経緯】

15年位前に、コンピュータ入力作業員の募集時に、ハローワークの紹介で採用したのが始まりです。現在、3人の身体障がいのある方が働いています。2人の方は、毎月通院される以外は、他の社員と変わらず特別なことはありません。

コンピュータ入力作業担当の方は、高校生の時の交通事故の後遺症で、言葉を発することが出来ません。意思疎通は全て筆談になります。コンピュータ入力については、入社前に職業訓練を受けており、問題なく業務をこなせると判断し採用しました。

### 【事務の仕事】

青果物の卸売を事業内容とする会社です。現場は、フォークリフトが走り回り重量物が積まれており、障がいのある方には現場の仕事は不向きと考えています。

障がいのある方の特性や能力に向いている事務の仕事があれば雇用していきたいと考えています。コンピュータ入力業務もその一つでした。ただ、入力の元となる情報は手書きの伝票ですので、価格が読めない時があります。その時は、声が出ないので、担当の営業の人を目で探さなければなりません。しかし、これも周りの社員との大切な接点となっています。

障がいがあることで、苦勞したことや特別なことはありません。事務であれば、今後の実習の受入れもしていきたいと思っています。

### 【Nさんに聞きました】

15年目です。職業訓練を受け、ハローワークの紹介で入社しました。入力作業は自分に向いていると思います。決められた処理時間までに出来た時はうれしいです。入力する数字が読めない時、忙しい担当を見つけて聞き出すのが、少し大変です。

将来は、親を見て恩返しをしたいと思っています。